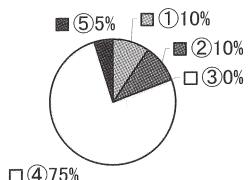


## 【企業】

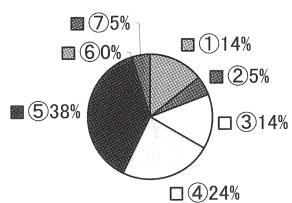
- 実施期間 平成 23 年 7 月 28 日  
 ○対象 県内企業向け環境セミナー参加企業  
 ○方式 直接配布・回収  
 ○回収数 21 件

1. 貴事業活動における生物多様性に関する取り組み状況について1つ選んでください。



- ①生物多様性保全の取組に関する方針を定め、取組を行っている。
- ②生物多様性保全の取組に関する方針は定めていないが、取組は行っている。
- ③生物多様性保全の取組に関する方針は定めているが、取組は行っていない。
- ④生物多様性保全の取組に関する方針は定めておらず、取組も行っていない。
- ⑤無回答

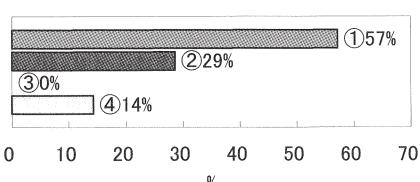
2. 今後の御社の生物多様性への取組または予定はいかがですか。



- ①すでに取組を行っている。
- ②独自の取組を検討したい。
- ③何か良い取組を紹介されれば検討したい。
- ④いまのところ考えられない。
- ⑤わからない。
- ⑥その他
- ⑦無回答

3. 2. で①～③と答えた方にお聞きします。どのような貢献内容ですか。(複数回答可)

- ①人的貢献
- ②資金貢献
- ③技術貢献
- ④その他の貢献



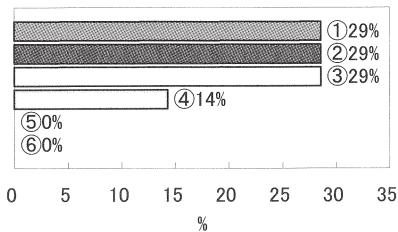
具体的にご記入ください。

沿線の希少生物保護のため、グループ会社で人的貢献等行っている。

地下水の保全

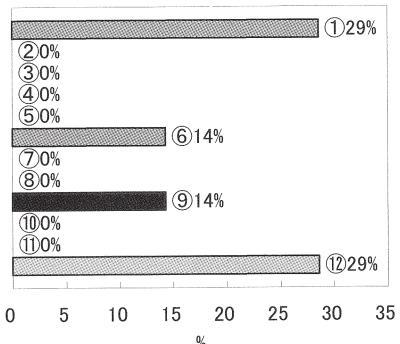
4. 2. で①～③と答えた方にお聞きします。連携先はどこですか。またはどこが考えられますか。(複数回答可)

- ①生物多様性に関する活動団体との連携
- ②県との連携
- ③市町村との連携
- ④活動地区的地元との連携
- ⑤一般県民との連携
- ⑥こだわらない



## 5. 2. で①～③と答えた方にお聞きします。どのような取組ですか。(複数回答可)

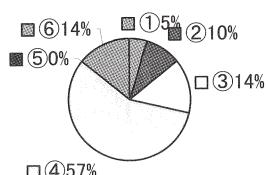
- ①放置山林の復旧と活用
- ②竹林の復旧と活用
- ③棚田の復旧と活用
- ④放置農地の復旧と活用
- ⑤河川の整備
- ⑥希少野生動植物の保全
- ⑦増えすぎた野生動物の活用
- ⑧外来種の防除
- ⑨ビオトープの整備・管理
- ⑩自然観察会・身近な生き物調査
- ⑪自然体験学習
- ⑫その他



⑫その他についてご記入ください。

地下水の保全

## 6. 生物多様性への取組がビジネスチャンスにもリスクにもなると言われている所ですが、御社では生物多様性保全への議論が行われていますか。



- ①十分に行われている。
- ②十分ではないが行われている。
- ③ほとんど行われていない。
- ④行われていない。
- ⑤わからない。
- ⑥無回答

## 7. あなたが考える生物多様性の課題や、ご意見、ご要望など、ご自由にご記入ください。

人間も生物であります。その人間が生活苦により、田地・田畠を手放す現象が起こっています。それを中国人等が購入し、勝手な開発を行う恐れがあります。まず、そのあたりの規制をしっかり県・国がしなければだめだと思います。

昨年から非常によく耳にする言葉であり、社内でも取組を行っている部署もありますが、環境問題への取組という面での印象しかありませんでした。今回のセミナーで、経済との関わりがよく分かりました。企業として今の時代、環境問題への取組がないというわけにはいかずあちらこちらで取り上げられているのではなく、経済と深く関わり、企業の収益や社会全体の経済発展に大きく関係しているという認識がもっと広がる必要があると痛感しました。なんとなく理解しきれていたことが分かり、大変勉強になりました。ありがとうございました。

用語としての生物多様性の定義が分かりにくい → 他の環境に関する用語についてもそうだが、もう少し分かりやすい言葉に置き換えたほうが良いのではないか？例えば「自然保護」とかにしたほうが分かりやすい。

「生物多様性」は今日はじめて聞く言葉である。生物多様性保全のためには、これまで減少要因になっていた「第1の危機」～「第4の危機」の各項目を今後進めないことが第一のポイントと考える。「企業」あるいは「個人」として行えることは限りがあると思われるが、環境汚染に繋がらないよう日常から活動していくことが大切で、その意識づけがポイントであると考える。

放置農地の復旧と活用は、地方公共団体等の協力及び指導において活用する。外来種の防除については、種によっての説明、種の特性を研究し対処する。

工場周辺の地下水が減少している可能性があるので、地下水を保全するため、何かできることがあれば検討したい。

●策定の経過

「生物多様性なら戦略」(仮称) に関する府内連絡会議		生物多様性なら戦略検討会 奈良県自然環境保全審議会 自然保護部会
平成22年12月16日設置	平成22年11月19日設置	平成22年度 平成23年2月9日 第1回開催
平成23年度 平成23年1月21日 第1回開催	平成23年度 平成23年5月26日 第2回開催 平成23年7月25日 第3回開催 平成23年11月10日 第4回開催 平成24年2月16日 第5回開催	平成23年度 平成23年9月2日 第2回開催 平成24年2月3日 第3回開催
平成24年度 平成24年9月28日 第4回開催 平成25年1月9日 第5回開催	平成24年度 平成25年1月18日 第6回開催	平成24年度 平成25年2月5日 第4回開催
事務局 奈良県くらし創造部 景観・環境局 自然環境課		パブリックコメントの実施 平成24年11月22日～12月21日 意見提出者数 13個人・団体 意見数 113件

●奈良県自然環境保全審議会自然保護部会委員・生物多様性なら戦略検討会検討員・  
「生物多様性なら戦略」（仮称）に関する庁内連絡会議委員の名簿

奈良県自然環境保全審議会自然保護部会委員（50音順、敬称略）

氏名	職名等	備考
部会長 相馬 秀廣	奈良女子大学教授	～H24.8
部会長職務 代理者 北口 照美	奈良佐保短期大学特任教授	
委員 足立久美子	歴史街道推進協議会メインルート推進部課長	
委員 尾崎 充典	県議会文教くらし委員長	H23.7～H24.9
委員 河原 武	環境省近畿地方環境事務所統括自然保護企画官	H23.10～
委員 佐々木 仁	環境省近畿地方環境事務所統括自然保護企画官	～H23.9
委員 日比 伸子	橿原市地域振興局観光課観光企画係長・学芸員	
委員 藤野 良次	県議会文教くらし委員長	H24.9～
委員 松井 淳	奈良教育大学教授	
委員 森山 賀文	県議会厚生委員長	～H23.7
委員 山下 真	生駒市長（市長会）	

生物多様性なら戦略検討会検討員（50音順、敬称略）

氏名	職名等	備考
前田喜四雄	奈良教育大学名誉教授	会長
井上 龍一	奈良教育大学附属小学校教諭	
尾上 聖子	大和高田市立高田中学校教諭	
川瀬 浩	日本野鳥の会奈良支部支部長	
櫻谷 保之	近畿大学教授	
瀬戸 剛	元大阪市立自然史博物館主任学芸員	～H24.4
細谷 和海	近畿大学教授	
森本 篤正	元天理高等学校教諭	H24.5～
前迫 ゆり	大阪産業大学教授	

「生物多様性なら戦略」(仮称)に関する府内連絡会議委員

	職名	備考
会長	くらし創造部景観・環境局次長	
副会長	くらし創造部景観・環境局自然環境課長	
委員	地域振興部地域政策課長	H23.4 ~
委員	地域振興部資源調整課長	~ H23.3
委員	くらし創造部消費・生活安全課長	
委員	くらし創造部景観・環境局環境政策課長	
委員	くらし創造部景観・環境局風致景観課長	
委員	産業・雇用振興部地域産業課長	H24.4 ~
委員	農林部農業経営課長	~ H23.3
委員	農林部農業水産振興課長	
委員	農林部畜産課長	
委員	農林部農村振興課長	H23.4 ~
委員	農林部耕地課長	~ H23.3
委員	農林部地域農政課長	H23.4 ~
委員	農林部担い手・農地活用対策課長	~ H23.3
委員	農林部林業振興課長	H23.4 ~
委員	農林部林政課長	~ H23.3
委員	農林部森林整備課長	
委員	土木部道路建設課長	
委員	土木部河川課長	
委員	土木部砂防課長	
委員	土木部まちづくり推進局都市計画室長	
委員	土木部まちづくり推進局公園緑地課長	
委員	土木部まちづくり推進局奈良公園室長	H24.4 ~
委員	土木部まちづくり推進局建築課長	
委員	教育委員会事務局学校教育課長	H23.8 ~
委員	教育委員会事務局文化財保存課長	